

ゾーニングと個人防護具

～ゾーニングが切り替わると、防護具も切り替えます～

- ・参考資料1 京都第二赤十字病院感染管理室資料
- ・参考資料2 厚労省 施設内療養時の対応の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/content/000783412.pdf>

- ・参考資料3 大石貴幸.國島広之.医療機関における新型コロナウイルスにおけるゾーニングの考え方
(東北大学大学院 感染制御 検査診断学)

http://www.tohoku-icnet.ac/covid-19/mhlw-wg/images/division/medical_institution/d01_pdf03.pdf

- ・参考資料4 高齢者施設向け対応情報集 (京都市保健所 令和5年2月改正版)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000287819.html>

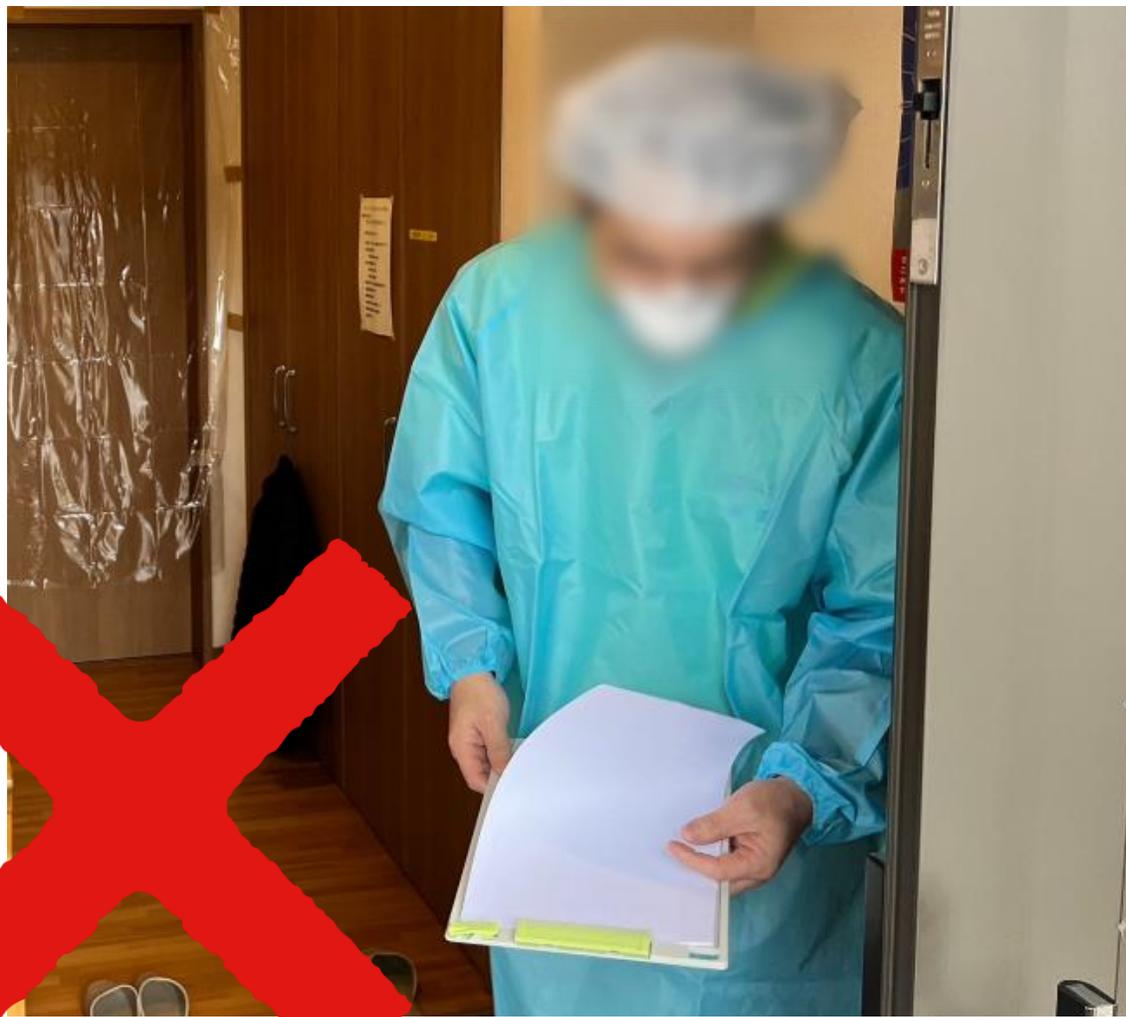
こんなことをしていませんか？

- ガウンを着たまま、レッドゾーンとグリーンゾーンを行き来する。
⇒× 異なるゾーンへの移動は、防護服を交換すること
- 手袋を常に着用している。
⇒× 手袋はケアごとに交換すること
- 節約のため、一日中同じガウンを着用し、ケアにあたる。
⇒× ガウンはケアなどの必要時のみ着用し、使用後速やかに廃棄すること

「汚染されていないもの」「汚染されたもの」を区別する。
必要な場面で、必要な防護具のみを着用。
適切に脱衣して廃棄し、手指衛生を必ず行う。

「手袋つけたまま」「ガウン着たまま」では感染対策が破綻します。

半数以上の施設で
見受けられますが…



玄関先でも
防護具を着用

ゾーンや防護具の切り替えが
不十分？

グリーンゾーンでの
ガウン着用は不要



防護具をつけたまま
休憩や水分補給



防護具をつけたまま記録

職員に感染するリスクがある

休憩や記録の場所はグリーンゾーン
であることが望ましい



未消毒のゴーグルや使用済み
(汚染の可能性がある) マスク
をテーブルに直に置いている
テーブルはきれい？

夜勤中の仮眠の風景・・・



フル防護具をつけたまま仮眠



ガウンは脱いで休憩しましょう

急に陽性者が部屋から出てきて対応が必要な場合はマスク・手袋などで十分です
(急過ぎて手袋をつける時間がない場合は、事後の石鹸手洗いを)

対応後には必ず手洗い、手指消毒をしましょう



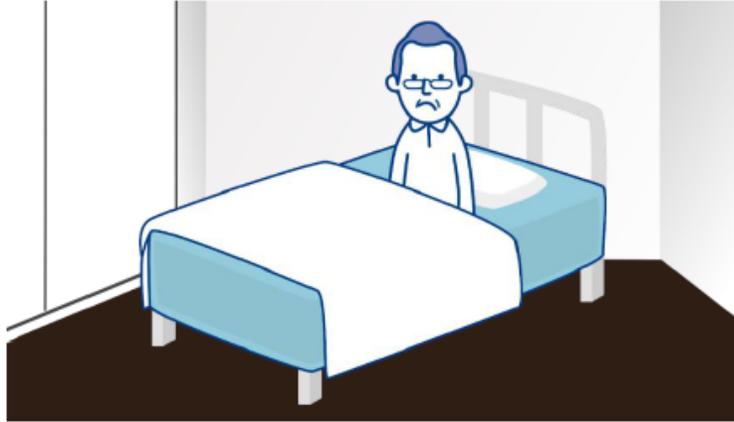
- 実は、ゾーニングに“必ずこうしなければいけない”といった科学的根拠はありません。
- ゾーニングは、みんなが同じ感染対策をするための規則(ルール)です。ゾーニングが変わる場所で、個人防護具を脱衣しましょう。
- ルールを守ることで、「ウイルス汚染されない」という意識づけをすることで、施設全体で統一した対策をとることができます。(結果として感染も防げるはず)
- ゾーニングは、決してコロナだけのものではありません。
- 理解しておくと、日常的な感染対策にも使えます。
- 感覚として身につけましょう。(トイレの後に手を洗う、靴を脱いで家に上がるなど)

日本人はゾーニングが得意!?

2 ゾーニングと個室への避難

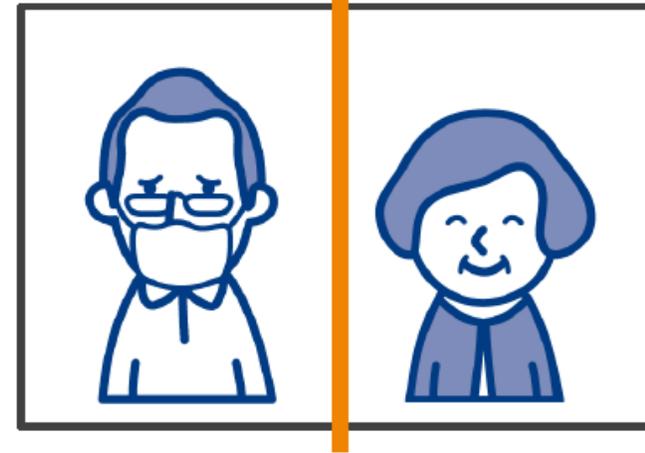
- 保健所や感染症対策の専門家等の指示に従い、感染の疑いのある利用者を個室に隔離します。
- また、個室が十分でない場合には、感染の可能性のある人たちを移動させるのではなく、その場から動かさずにエリア全体を感染のリスクがあるゾーンとみなして対応します。
- 職員の勤務状態を確認し、「感染している可能性がある」と考える範囲を検討します

個室へ避難



- 感染が疑われる利用者を個室に隔離
- 感染している可能性があると考えられる範囲を検討
- 個室に隔離した利用者には、個室・エリアを出ないようにしてもらう

ゾーニング（区域を分ける）



- 3つの区域に分ける
 - ウイルスが存在する区域（レッドゾーン）
 - 防護具を脱ぐ場所、ウイルスが存在する可能性がある区域（イエローゾーン）
 - ウイルスが存在しない区域（グリーンゾーン）

ゾーニングと個室への隔離

ゾーニングとは・・・

- 「感染の危険性のあるもの」と「感染の危険性のないもの」の場所を分けること
- 「有症状者」、「陽性者」と、「無症状者」を別の空間で管理する

清潔なもの

未使用の防護具など

不潔なもの

ゴミ箱など

症状のある人

症状のない人

ゾーニング

レッド
ゾーン

ウイルスが存在する

常に防護服が必要

陽性者の居住エリア

イエロー
ゾーン

ウイルスが存在する
可能性がある

防護服の脱衣場所

イエローゾーンは設定しないこともある

グリーン
ゾーン

ウイルスが存在
しない

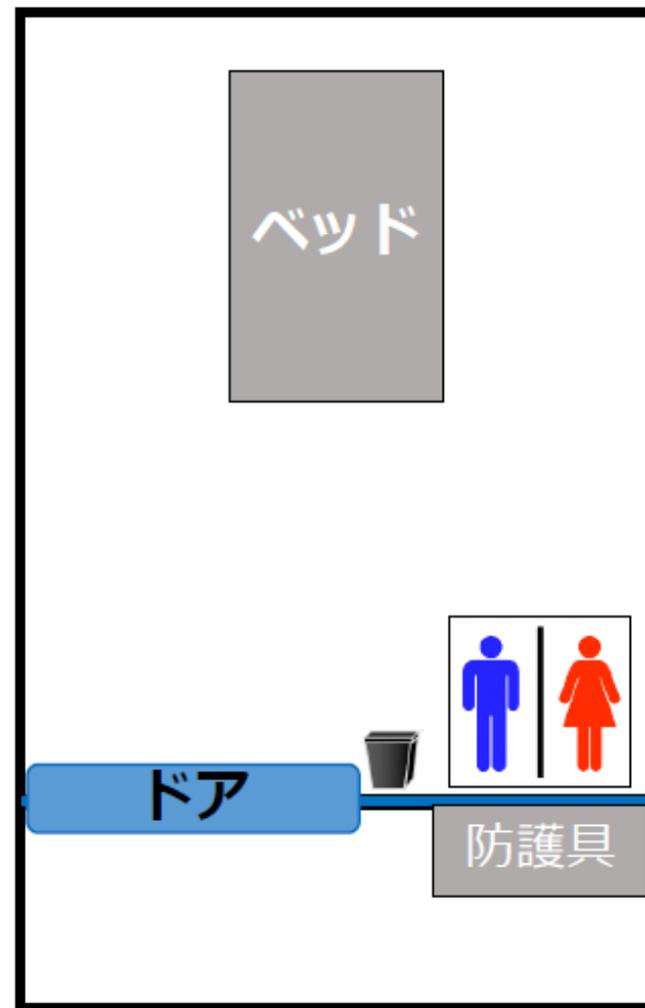
防護服は処置時以外は不要
(サージカルマスクは常時着用)

ナースステーション、事務室、感染の可能性のない人の居住エリア

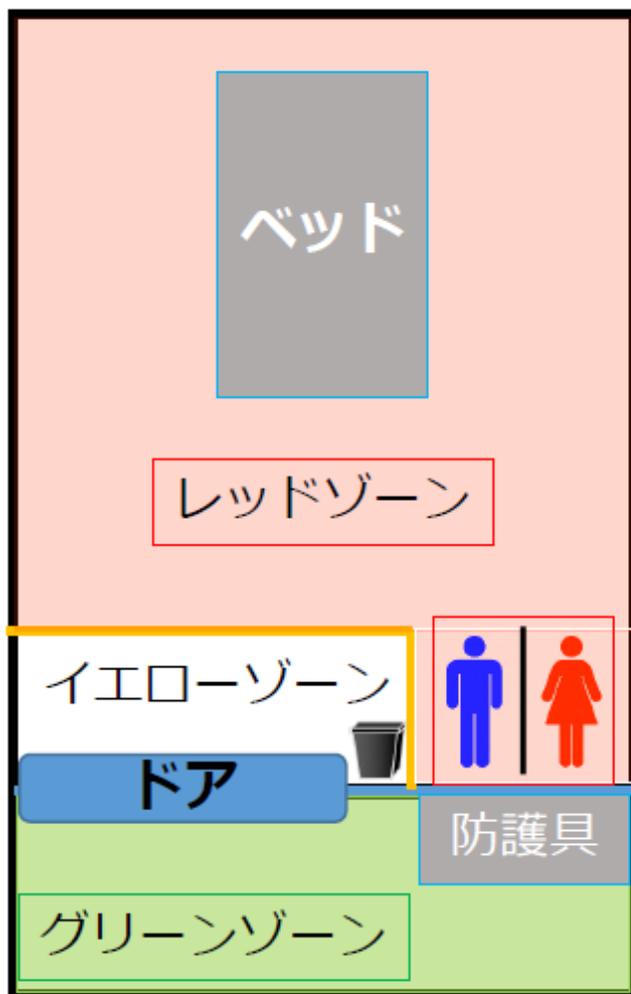
個室のゾーニングを試みよう！

- ・入院患者さんが1名コロナ陽性になりました。
- ・その患者さんはもともと個室にいます。
- ・コロナ受け入れ病床に空きがなく、
あなたの勤務する病棟でなければいけません。
- ・どのようにゾーニングしますか？

ゾーニングが変わる場所で个人防护具を脱衣するように設定しましょう。

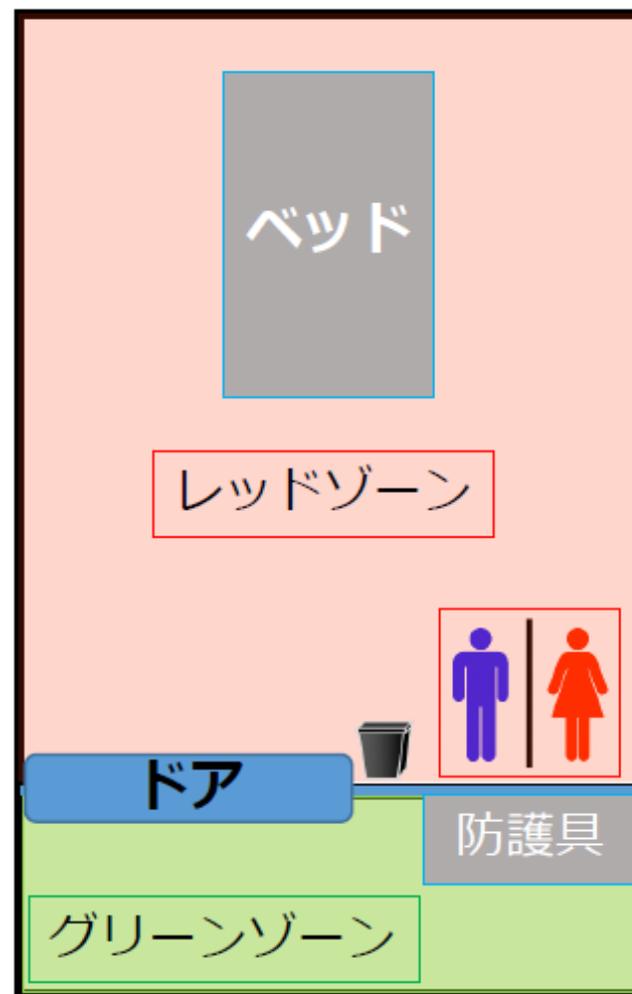


個室でのゾーニング例

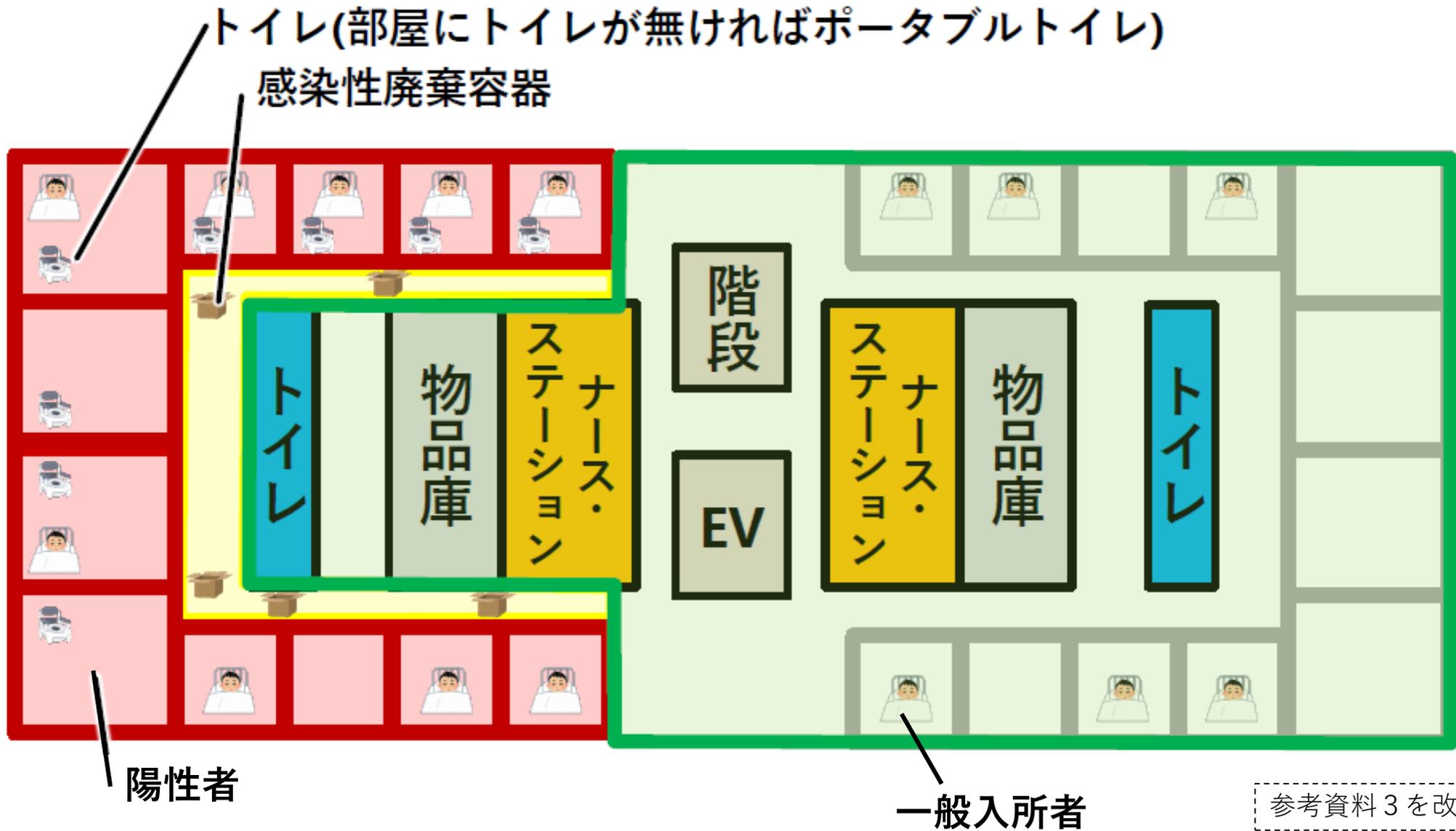


イエローゾーンは設置
しなくても良い

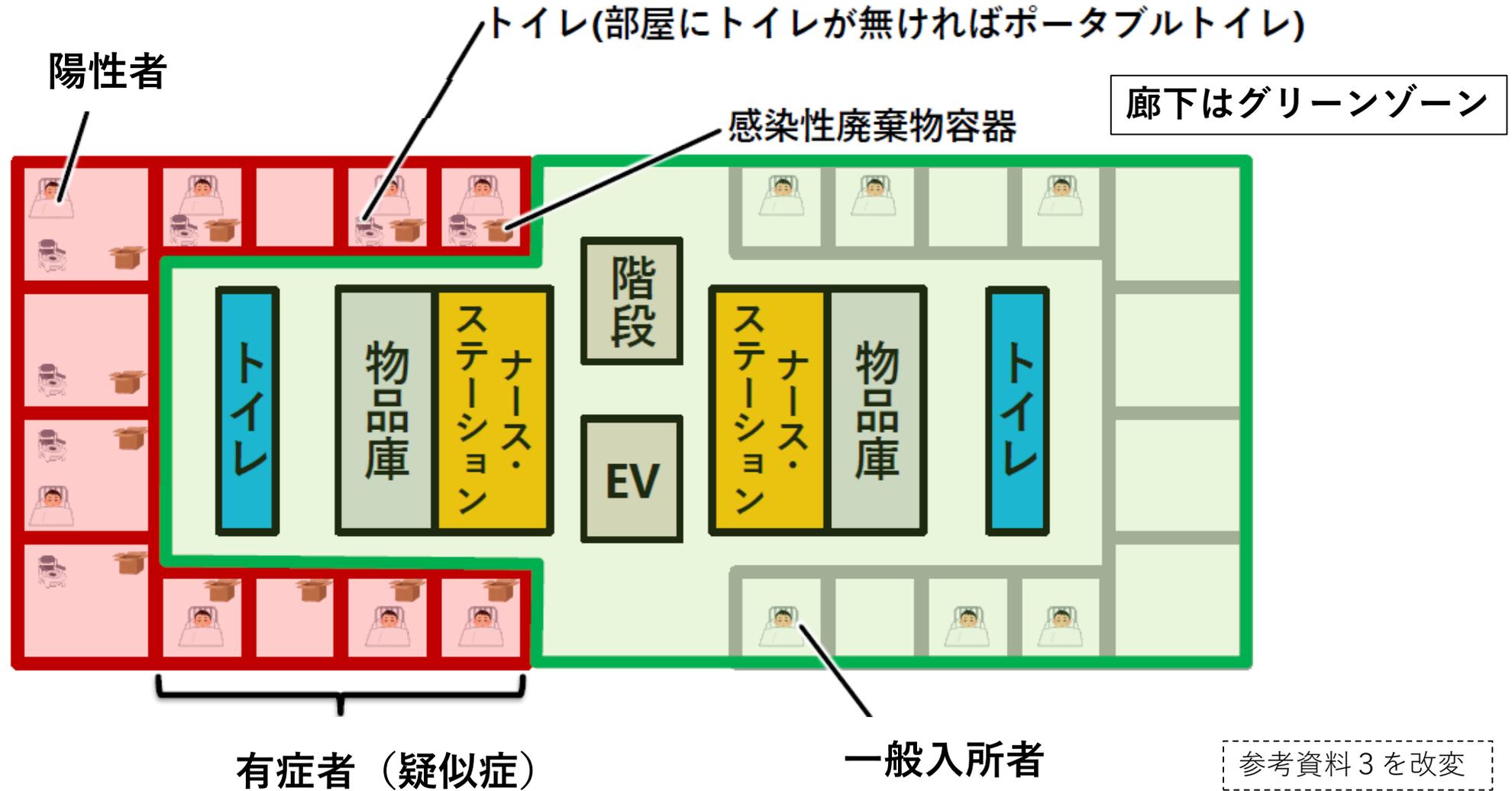
グリーンゾーンは廊下



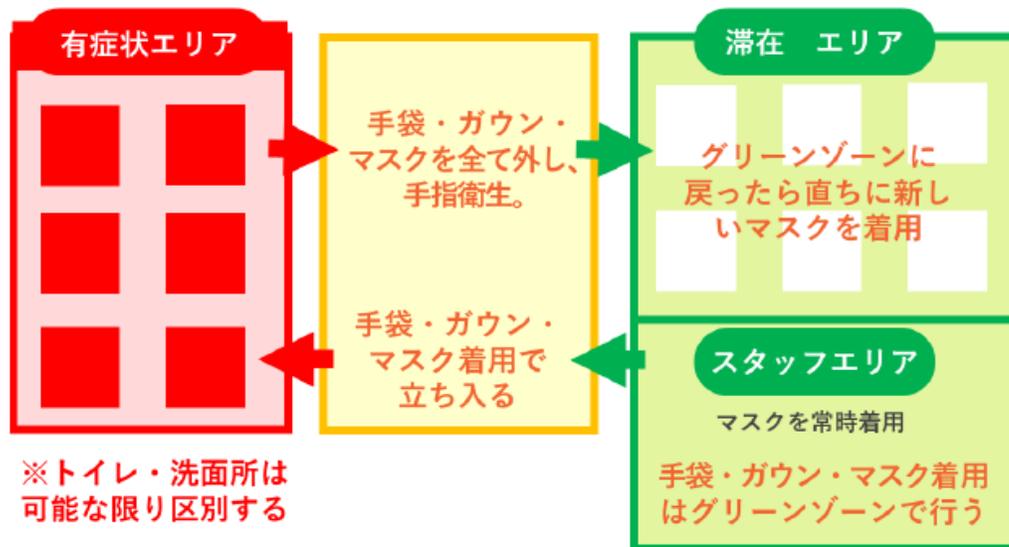
ゾーニングの例：イエローゾーンを設定する場合



ゾーニングの例：イエローゾーンを設定しない場合 有症状(疑似症)がいる場合



感染発生時のゾーニングの例

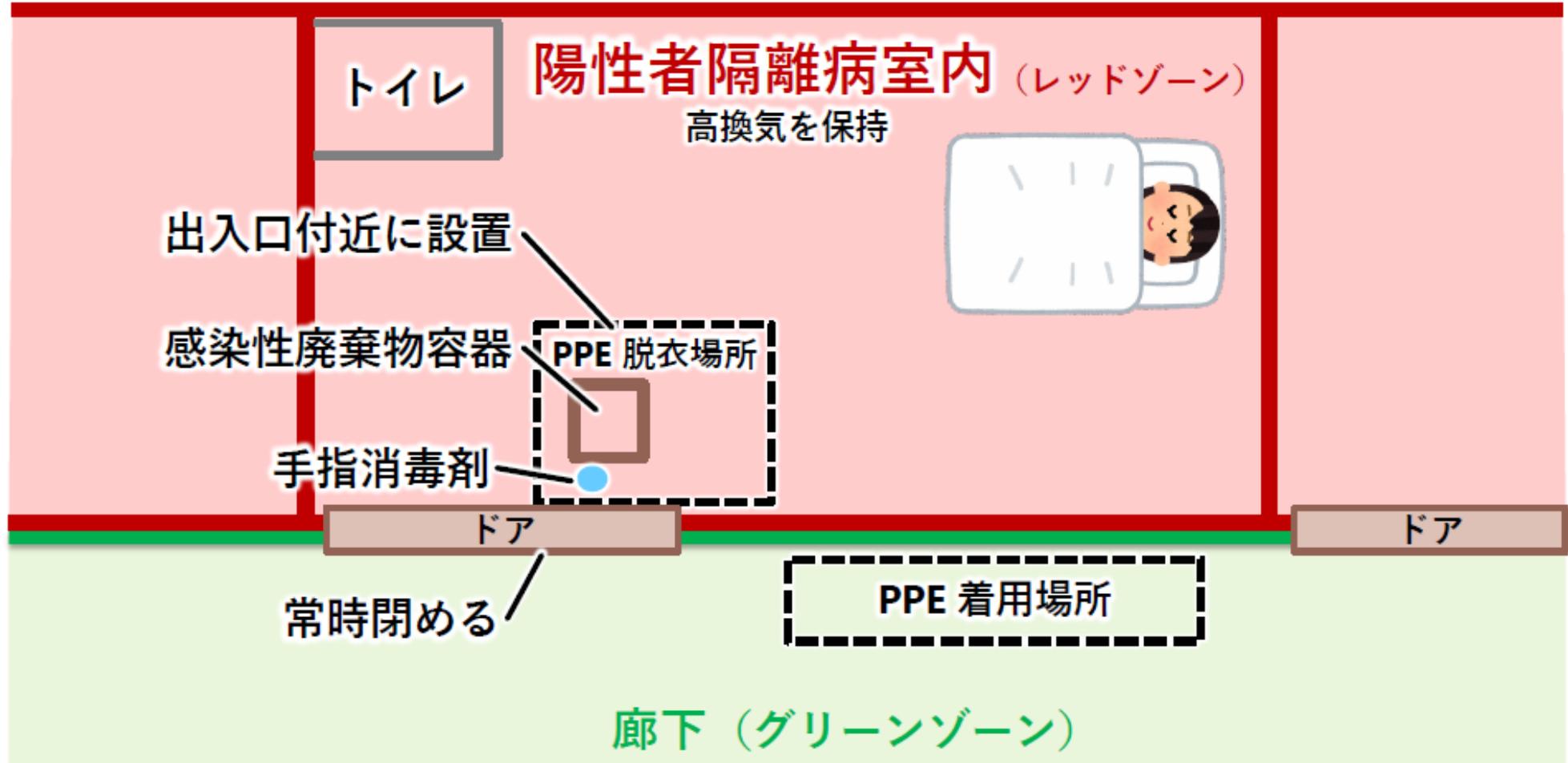


- ・廊下をレッドゾーンにする方法もありますが、できるだけグリーンゾーンを広くとり、PPE（個人防護具）を外せる場所を確保することをおすすめします。

- ・ガウンやN95マスクを着衣する時間が長くなると、職員が感染対策に集中し続けることがむづかしく、職員の感染が ocorrência やすくなります。

- ・「スタッフステーション」、「入所者食堂横のキッチン」は、グリーンゾーンにしましょう。

個人防護具(PPE)の着脱場所を上からみてみましょう



個人防護具着用場所

廊下側(グリーンゾーン)から見ると

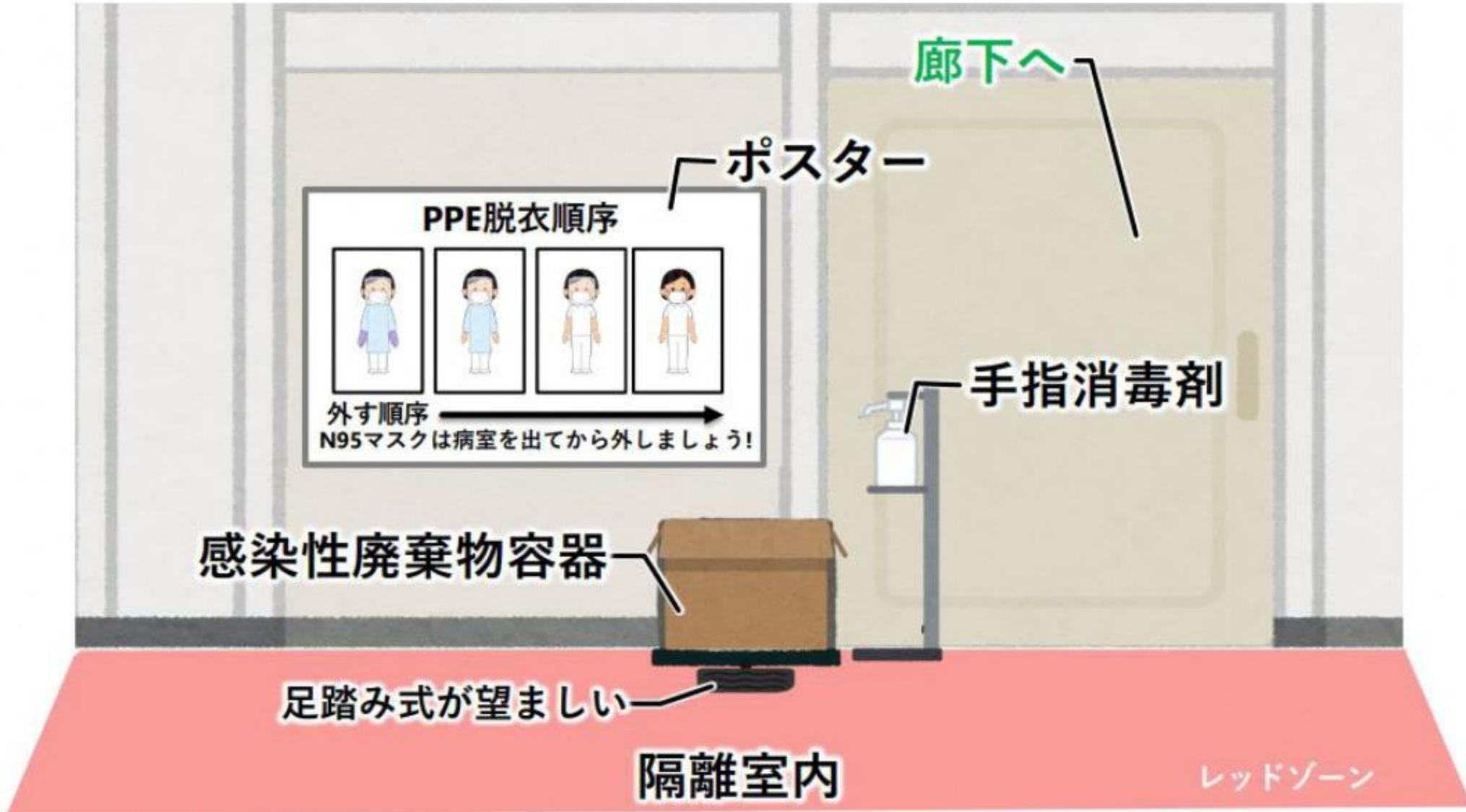


PPE着用場所を整理しましょう。

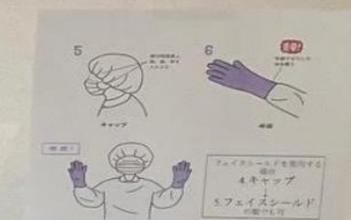
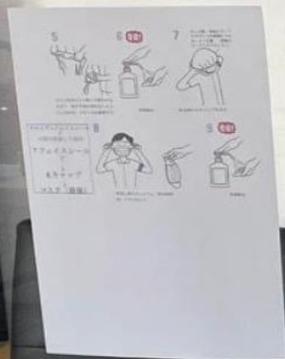
参考資料 3 参照

個人防護具脱衣場所

陽性者部屋側(レッドゾーン側)から見ると



PPE着用手順の絵図



①手指消毒

②マスク

③ガウン

④手袋

⑤キャップ

⑥フェイスシールド

(PPE着用場所の例) 整理整頓は感染対策の第一歩

してはいけないこと

接触予防策の破綻



汚染された手袋で、無意識に顔を触っていませんか？

図 18 新型コロナウイルス感染予防のために 接触感染にご注意を！

接触感染に注意！

新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

人は、“無意識に”顔を触っています！



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、
約**44パーセント**を占めています！

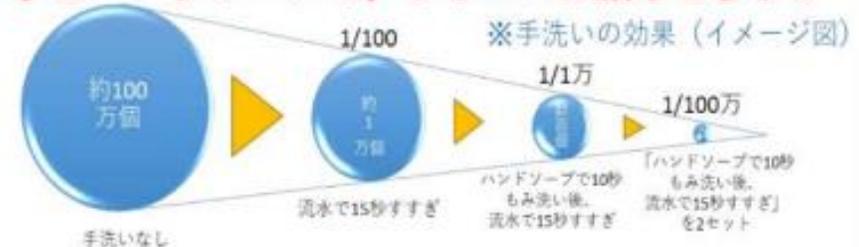
(参考文献)

Yen Lee Angela Kwok, Ian Gralton, Mary-Louise McLaws. Face touching: A frequent habit that has implications for hand hygiene. Am J Infect Control. 2015 Feb 1; 43(2):112-114
(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7115329/>)

(出典：厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/content/000658585.pdf>)

手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

手洗いの、5つのタイミング



業務中は「肩から上に手を上げない」を習慣にしましょう